



# 社会にフォーカス

Vol. 1

社会の部屋では、授業で取り上げたい時事問題等に焦点を当てて紹介する新コーナー「社会にフォーカス」を随時掲載します。



## 「政権交代」のもつ意義

衆議院が解散し、12月14日に衆議院議員選挙が行われます。2年前の選挙で圧勝した自由民主党が政権を維持するのか、それとも野党が躍進して勢力伯仲となるのか、または、政権を取り戻す「政権交代」があるのかが一つの焦点となっています。

そこで、今回は、「政権交代」について紹介したいと思います。

### 〈中学校学習指導要領では〉

「政権交代」に関する学習は、公民的分野「私たちと政治」項目中の「民主政治と政治参加」の箇所が該当します。「政権交代」についての記述は見られませんが、『選挙の意義』について考えさせる」とあります。

### 〈中学校学習指導要領解説 社会編では〉

「選挙の意義」について、次の記述が見られます。（下線は筆者）

- ・ 国民の意思を政治に反映させるための主要な方法であることを理解させる。
- ・ 具体的な事例を取り上げて関心を高める。
- ・ 選挙に参加することの重要性について十分に考えさせる。



### 〈教科書では〉

『新しい社会 公民』（東京書籍）には、「政権交代」に関する次の記述が見られます。（下線は筆者）

- ・ 「2009年と2012年には政権交代が起こり、日本の政党政治は変化しつつあります。」
- ・ 「2009年に行われた衆議院議員選挙（総選挙）の結果、民主党中心の連立政権が成立しましたが、2012年の総選挙では、自民党と公明党による連立政権に戻りました。」
- ・ 「各党の政権公約を比較することにより、人々はどの政党に政権をになわせ、どのような政策を実現させるかを、わかりやすく選択できるようになりました。」

学習指導要領や解説、教科書における「政権交代」に関する記述は、以上の通りでした。



授業において、選挙が、「国民の意思を政治に反映する主要な方法」であることを理解させる際には、「**政権交代は、国民の意思で政権を代え政治を大きく変えることもできる、選挙による政治の転換**」という政権交代のもつ意義についても、ぜひ触れたいものです。